

七夕の会 2019の報告とお礼

七夕の会の皆さん、7月5日（金）に開催した「七夕の会 2019」について報告します。参加して下さった皆さん、ありがとうございました。2007年にこの会を始めて例年、仲間の皆さんにお声がけし、参加希望者がいる間は続けようと思ってきました。おかげさまで、今年は13回目を数えました。参加して下さった皆さん（源を含め19名）、また、参加できないまでも近況を知らせて下さった皆さん、ありがとうございました。

当日は皆さんの集合も早く、一昨年に金沢大学学長賞を獲った下崎真吾君（金沢赤十字病院整形外科）の挨拶で乾杯しました。笠島里美さん（本学保健学域）の女子学生さん3名も参加してくれましたので、賑やかになりました。いま学位をめざす7名の仲間（小竹君、阿部君、竹中君、ディリラさん、中西君、上原君、太田君）があります。そして、今春は北村祥貴君（石川県立中央病院外科／本学第一外科：写真）と富田泰斗君（金沢医大一般・消化器外科）がこちらの研究で学位を取得し、keen surgeon を願ってお祝いしました。また今月は、やはり学位申請のため、波佐谷兼慶君（福井県立病院消化器内科）が研究生に加わり、少しずつ仲間が増えてきました。少し長くなると前置きして挨拶を始めた波佐谷君の話は、かれの誠実で一生懸命な人柄を彷彿とさせるもので、いい仲間ができたという感じです。つい嬉しさのあまり、年甲斐もなく肩をくんでエールを交わしました（写真）。



とてもヘテロなメンバーながら、皆さんそれぞれに知己をえて、あるいは旧交を温めて、楽しいひとときを過ごしました。会の終わりには、私の大切な友人であり仲間である宮下知治君（本学消化器・腫瘍・再生外科学／第二外科）が我々を温かくエンカレッジして、「七夕の会 2019」を締めくくってくれました（写真）。

あと、今秋 11 月 30 日（土）に石川県文教会館で、第 49 回日本消化器がん検診学会東海北陸地方会を担当します。いままさに、その開催準備を本格化したところです。別紙の開催案内とポスターをご覧ください。東海北陸地区の消化器がん検診の基幹学会です。七夕の会の仲間にも助けてもらって、何とかよい学術集会になるよう努めます。

この会の案内のときにお知らせしましたように、東京オリンピックの直前の 2020 年 7 月にはこの研究室の 20 年目が始動し、翌 2021 年 7 月に満 20 周年ということになります。それまで研究室が持ちこたえられていれば、2021 年 7 月第 1 土曜日に研究会と講演会を兼ねて「七夕の宴」を計画するつもりです。講演会は、医学とは別の分野の方を招こうと考えています。2020 年 7 月第 1 金曜日夕：居酒屋での七夕の会と、2021 年 7 月第 1 土曜日午後：「七夕の宴」ともに、都合をつけて、ぜひご参加ください。



七夕の会 2019：オリーブオイル・キッチン（金沢駅前） 2019 年 7 月 5 日（金）

以上、七夕の会 2019 を報告いたしました。それでは、これからもどうぞよろしくお願い致します。

2019 年 7 月 7 日（日）

七夕の会

係り 源 利成

担当 浅香敦子



研究室 HP（更新中）

<http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/shuyoseigyō/index.html>